



ERIC GARCETTI
MAYOR

行政指令32番

発令日:2021年12月16日

ロサンゼルス市における言語アクセスの強化について

ロサンゼルスは世界中の人々が安心して夢を追いかけ、家族を育て、私たちの市の生活と歴史に前向きに貢献できる場所です。

私たちの多様性を最も明確に際立たせているものとしては、ロサンゼルス地域で話されている数多くの言語数（推定220カ国語以上）と、多言語移民コミュニティの経済的、文化的、社会的、政治的な健全性を保護する役割に伴う利益と課題があります。英語を第一言語として話さず、英語を読んだり話したり書いたり理解したりする能力が限られている人は、英語学習者（ELL）と呼ばれます。このような移民居住者は、市内に538,800人以上存在し、ロサンゼルスの移民人口の37%強に相当します。

私は、市の行政サービス、支援活動、権利擁護の調整を通して移民が速やかに溶け込めるように、市長直属移民事務局を設立しました。この設立により在留資格や話す言語にかかわらず、すべてのロサンゼルス市民がコミュニティ情報に通じ、行政サービスにアクセスし、市民生活に参加し、自分たちの生活に直接影響を与える法律や政治的主導権についての情報を得る機会を、より確実に持てることを目指しています。

世界的なコロナ禍が市民に及ぼした影響により、この言語アクセスの強化が救命に与える重要性と、専門的かつ高品質の言語アクセスサービスを提供する、確実に一元化した方法を実施することの緊急性が浮き彫りにされました。今求められていることは、ロサンゼルス市内全域で公平性を重視し、将来の発展のための土台固めに的を絞った言語アクセスプログラムを確立し、私の施政下での言語アクセス政策と運用を制度化することです。同時に、私たちがすでに成しとげた著しい発展を保護する明確な道筋を定めていくことが必要です。

ロサンゼルス市全域に向けた言語アクセスプログラムを確立する継続的な取り組みを支援するため、私はここに以下を指示します。

1. 市内全域の言語アクセスと利用可能なコミュニケーションプログラムの土台を固め、市の部局の手本としての役目を果たす言語アクセス計画(開始計画)の手引きを作成。市長直属移民事務局は、2021年から2022年の会計年度の終わりまでに開始計画作成の役割を担うものとし、開始計画は、適用される法的要件を満たし、有権者サービスを含む情報、プログラム、およびサービスへの有意義なアクセスを確保するために市長室が取る方針と行動を規定するものとし、開始計画は、以下の項目3で説明されているように、市内全域の言語アクセスプログラムの基本文書としての機能を果たし、市の部局の個別言語アクセス計画の手本としての役割を果たすものとし、

- a. 開始計画は、以下の項目2で概説されるように、法律やサービス人口の変化に基づき、市内全域言語アクセスコーディネーターによって定期的に更新されるものとし、開始計画の更新はすべて、市長室ウェブサイトで配信されるものとし、
- b. 開始計画は、市の部局の指針となり得る市内全域言語アクセスプログラムの目標と評価基準を確立し、この行政指令の目標達成のための将来の予算請求を準備していきます。

2. 市内全域言語アクセスコーディネーターの役割を確立。開始計画では、市内全域言語コーディネーター(コーディネーター)の役割の確立と、増員された補助スタッフを受け入れる能力がある、指定された市長室または市の部局内でのコーディネーターの役割の確立を概説するものとし、

- a. コーディネーターは、開始計画の実施に関して更新および監督を行い、新たな市内全域言語アクセスのニーズに対応することで、市内全域言語アクセスプログラムを主導していきます。
- b. コーディネーターは、以下の項目5で定義されているように、本部長、部局長または事務局長、あるいは言語アクセス連絡調整担当を介して市の部局と直接連携し、データや書類などの関連情報を収集し、すべてのロサンゼルス市民に役立つ開始計画を更新するものとし、
- c. コーディネーターは、ロサンゼルス市民が利用できる、市が提供する既存の言語アクセス資料と、さらなる情報やスタッフ増員も視野に入れた新たなニーズについても勧告するものとし、

3. 市の部局は、個別の言語アクセス計画(部局計画)を作成。既存の言語アクセス計画がない市の部局は、開始計画で提供されているテンプレートを導入し、部局が提供するサービスの種類に合うように必要に応じて変更していきます。

- a. 部局の計画は、法律で義務付けられているとおり、またサービスを受ける人口の変化に基づいて、定期的に更新され、市局のウェブサイトに配信されるものとし、

4. 市の部局は、言語アクセスデータを市内全域言語アクセスコーディネーターに報告。すべての市の部局は、開始計画の指示に従って、言語アクセスデータに関する定期的な報告書を提出する必要があります。報告可能なデータには、各部局がそれぞれ翻訳と通訳を提供した資料とイベントの数、それぞれの提供された言語、言語アクセスサービスの依頼回数、依頼されたサービスの種類、およびサービスが依頼された言語が含まれるものとしします。報告書はコーディネーターに送信されるものとしします。
5. すべての市の部局に、言語アクセス連絡調整担当者を指名。すべての市の部局は、コーディネーターと市の部局の間をつなぐ役割を果たす言語アクセス連絡調整担当者を指名するものとしします。
- a. コーディネーターには、担当者の名前と連絡先情報(その後の人事異動または担当者の連絡先情報の変更があった場合を含む)が通知されるものとしします。
 - b. 言語アクセス連絡調整担当者は、以下の項目6(a)に概説されているように、作業部会の会議に出席し、積極的に関与するものとしします。
 - c. 言語アクセス連絡調整担当者は、上記の項目2(a)で概説したようにコーディネーターと直接連携し、開始計画を更新していくコーディネーターの取り組みをサポートするために、データや書類を含むすべての関連情報を収集するものとしします。
6. 現存する市内全域の言語アクセス作業部会を制度化。市内全域言語アクセス作業部会(作業部会)は、開始計画の指示に従って、ロサンゼルス英語学習者(ELL)向けの市の情報、プログラム、およびサービスへのアクセス改善を引き続き推進するものとしします。
- a. 作業部会はコーディネーターが主導し、市の各部局からの言語アクセス連絡調整担当者が定期的に出席するものとしします。

2021年12月16日付にて施行。

エリック・ガルセッティ
市長